



# 平和資料館 草の家 だより

No.107

2010年6月28日発行



草と草の根の連帯をあらわす  
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586  
E-mail: GRH@ma1.seikyuu.ne.jp <http://ha1.seikyuu.ne.jp/home/Shigeo.Nishimori>

## 平和の音色に耳をすまして

～2010ピースウェイブを成功させよう～

平和資料館・草の家 館長 岡村正弘

1979年7月4日に「第1回高知空襲展」を開催してから、今回は32回目の空襲展（戦争と平和を考える資料展）になります。第1回の空襲展は、市民図書館で、県下全域から戦争の悲惨さを物語る資料や遺品などを展示し、8000人を超える人々が来場しました。「ここも戦場だった」という県民の思いの結晶でした。それ以来、1983年から「平和七夕まつり」その翌年から「反核平和コンサート」がスタートし、「平和美術展」も始まり、1996年から各界の平和・文化活動を結集した「ピースウェイブ」へと発展してきました。

「草の家」はピースウェイブの事務局を引き受けて頑張っています。各団体と連絡をとり、実行委員会を開き、高知市、市教育委員会、新聞・テレビの報道機関に後援依頼をしました。

県下の小・中学校の校長に「平和七夕まつりに参加しませんか」とよびかけの案内を出しました。福祉施設にもたくさん参加を呼びかけました。

ポスターは写真家の奈路広さんをお願いしました。チラシは草の家事務局の中内愛<sup>まな</sup>さんがつくりました。

「第32回戦争と平和を考える資料展」は企画・制作・展示すべてを草の家が行います。

今年の展示は、戦争に至る経過を年表で展示し、その中に韓国併合100年の特徴点を含める。展示の順序は、戦前、戦中・戦後、現在と時代区分が解るようにする。加害・被害・抵抗とそれぞれを展示、現在の紛争としてイラク問題、米軍と自衛隊、普天間基地問題など喧々諤々楽しく論議しています。

私たちは、国際的・歴史的視野に立つという観点と、地域から、足もとから戦争と平和を語り継ぐという観点にたって展示会を準備しています。

鳩山内閣には期待もことごとく裏切られました。菅内閣はご祝儀で支持率が上がっていますが、あぶくのように消えてゆく支持、目に見えて下がってゆくであろう支持率、今のうちにと選挙になりました。だまされまいぞ今度こそ。平和の音色に耳をすまして。

ピースウェイブの行事は沢山あります。家族や友人誘いあってご参加ください。

